

輸出事業計画

※申請者名：大醬株式会社 品目：醤油・醤油加工品

1. 輸出における現状と課題

- ・醤油と醤油加工品に関して、輸出商社経由で15年前から輸出に取り組んでおり、近年は商社経由の引合いや注文が増加しつつある。また、取引先の国内外食産業（回転寿司大手チェーン等）における海外展開に伴う海外出店先への輸出も拡大している
- ・海外向けの商品開発において、商社の指定する商品の受注生産を基本としているが、各国の規制等の十分な把握ができておらず、商品設計が困難なケースも増加している
- ・海外への直接輸出やECに以前取組んだが、言語等の障壁によりサンプル輸出に留まった。今後、直接輸出の再開、及びECへの新規参入を検討している

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・輸出拡大に向けた生産能力の向上を目的とした醤油・醤油加工品製造ラインの拡充
- ・輸出商社と連携し、現地での販売促進活動（現地での販売・試食会の支援・実施等）を強化するほか、オンラインによる海外向け販売促進の検討を行う
- ・「堺食産品海外セールス実行委員会」の実施する海外向け商談会に継続して参加する他、海外向け商談会等に関する情報収集を幅広く行い、積極的に参加する
- ・商社経由による輸出と合わせて、商社では対応できないケースにおける直接輸出や、ECにおける販売に新規で取り組む

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

- P：輸出商社からの現地情報・規制情報に基づき、輸出事業計画や設備投資計画を検討する
- D：計画に基づき、現地での活動も含めた販売促進活動を強化し、輸出を拡大する
- C：輸出の進捗状況について、輸出商社・金融機関を含む関係先の評価・アドバイスを踏まえ、必要に応じて計画を見直す
- A：輸出商社を通じて情報収集した現地消費者の求める商品を製造・改善を実施する

4. 輸出目標額

	【現状】 (令和2年10月～ 令和3年9月)	【目標】 (令和7年10月～ 令和8年9月)
輸出額	6,000万円	12,000万円
主な輸出先	台湾・韓国・ドイツ・中国	中国・台湾・韓国・ シンガポール・タイ・ フィリピン・ドイツ

- ・目標額の内訳は、商品別で醤油10%、醤油加工品90%
- ・市場の大きい中国、及び東南アジア向けの輸出拡大を目指す